

経営比較分析表（令和元年度決算）

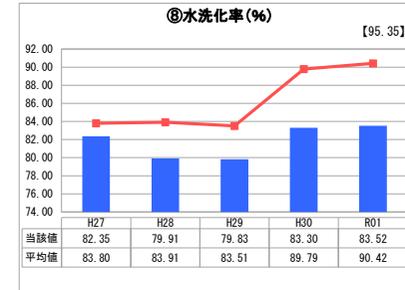
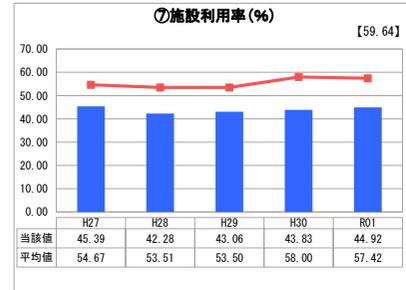
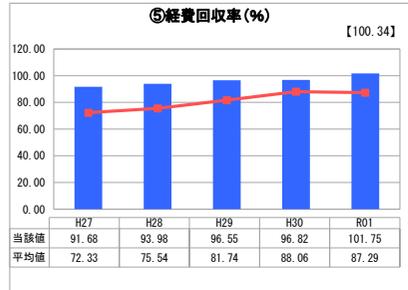
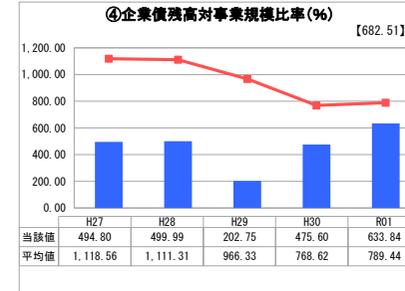
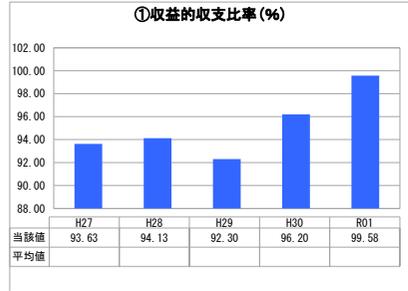
岐阜県 中津川市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cc1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家賃料金(円)
-	該当数値なし	32.04	70.62	3,740

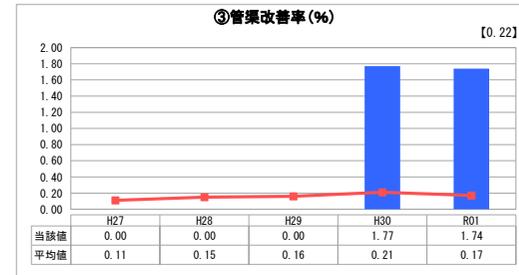
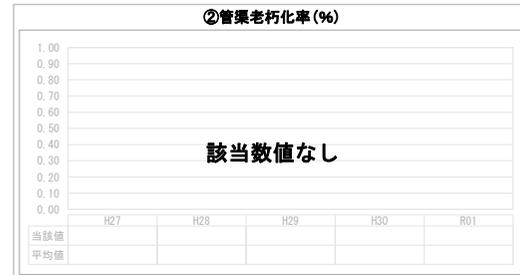
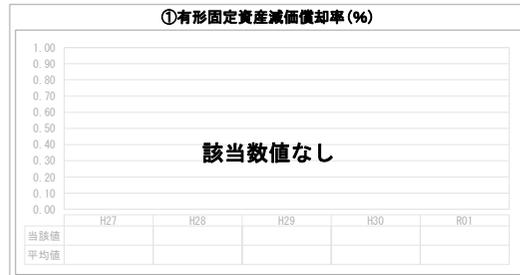
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
78,304	676.45	115.76
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
24,946	9.04	2,759.51

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率は、令和2年4月からの地方公営企業法の適用に伴い、令和2年3月31日で打切決算を実施したことで一時的に上昇しています。

②汚水処理原価は、平成30年の下水道使用料の定額廃止、及び処理区域面積の拡大等に伴い増加しており、企業債償還金も減少傾向にあることから経営基盤は改善されています。

③経費回収率は、上昇値に一部打切決算の影響を含みますが、引き続き類似団体と比較して高い数値で推移しています。

④汚水処理原価は、打切決算により一時的に減少しています。類似団体と比較して高い数値ですが、年間有収水量は増加しており、今後もリニア開業に向けて開発が進むことが予想されますので、減少傾向にあるといえます。

⑤施設利用率は、類似団体平均値を下回っていますが、一日平均処理水量は継続して増加しており、微増傾向にあります。

⑥水洗化率は下げ止まりました。今後はリニア開業に関連して水洗化の推進を図り、経営基盤の強化に努めます。

2. 老朽化の状況について

中津川処理区は令和元年供用開始、坂本処理区の管渠は平成23年供用開始のため、更新時期はまだ到来していませんが、老朽化率の上昇に備えてストックマネジメントによる計画的な更新を図ります。

③管渠改善率について平成30年が1.77%、令和元年が1.74%となっていますが、更新工事はなく、未普及地域への管路布設のみであったため、管渠改善率は0が正しいものとなります。

全体総括

当市の人口は今後も減少が予想されているものの、リニア開業に関連する民間の設備投資も増えることと予想されることから、有収水量については増加していくと考えられます。しかしながら、一般会計繰入金については、地方交付税が減額されていく中で必要とする繰入額が確保できない可能性を排除できません。

令和2年4月から、下水道事業は地方公営企業法を適用しました。今後は経営状況を減価償却費などを含め、より正確かつ客観的にとらえることが可能となり、細かく丁寧な分析をすることが求められます。分析結果から適正な受益者負担を検討しつつ、将来の設備更新にも備えた持続可能な下水道経営の確立を目指し、引き続き経営改善に努めます。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。